

令和元年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	麻生区第2グループ(王禅寺・虹ヶ丘・柿生)	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H30		R1		H30		R1	
	1 王禅寺こども文化センター ①年間延べ利用者数	17,721人	17,562人	②年間延べ利用団体数	131団体	214団体		
2 王禅寺中央小学校わくわくプラザ ①登録者数	257人	242人	②年間延べ利用者数	12,682人	12,501人			
3 東柿生小学校わくわくプラザ ①登録者数	236人	247人	②年間延べ利用者数	12,822人	12,231人			
1 虹ヶ丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	19,546人	17,497人	②年間延べ利用団体数	97団体	71団体			
2 虹ヶ丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	90人	95人	②年間延べ利用者数	8,096人	6,656人			
1 柿生こども文化センター ①年間延べ利用者数	17,284人	15,194人	②年間延べ利用団体数	326団体	288団体			
2 柿生小学校わくわくプラザ ①登録者数	411人	392人	②年間延べ利用者数	25,428人	24,414人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 127,852,540 補償金 835,641 合計 128,688,181 2 支出 人件費 111,999,474 管理費 9,951,519 事務経費 5,012,187 その他経費 6,506,584 合計 133,469,764 3 差引 -4,781,583							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・グループ合同開催の「グッドイートランチ」において、募集期間と開催時期を工夫するとともに、前年度の様子を紹介しながら児童に積極的に参加を呼びかけるなどした結果、参加者がH30年度の18人から44人と大幅に増加した。 ・虹ヶ丘こども文化センターでは、中高生の発案で「フットボール大会」を新たに実施したことで、高校生の利用促進に繋がった。 ・虹ヶ丘こども文化センターでは、王禅寺中央中学校の試験日程にあわせ「勉強カフェ」を実施し、学習環境を提供するとともに、夜食を提供するなどし、中学生から高校生の参加者のコミュニケーションの促進に繋がった。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ及びセルフモニタリング	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		セルフモニタリングについて、適切に実施しているか。			
		利用ニーズの把握、セルフモニタリングの実施の結果、業務改善につながっているか。			
	苦情等への対応	利用者からの苦情や指摘事項、意見への対応などが適切に行われているか。	5	3	3
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体、地域住民、施設等との連携がなされているか。	10	3	6
施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4	
わくわくプラザの充実	・①わくわくプラザ多世代交流促進事業、②学習タイム、③わくわくプラザメール配信サービス、④「地域の寺子屋事業」との連携(実施していないわくわくプラザについては、実施に向けた検討・調整等)について取り組み、わくわくプラザ事業の充実を図っているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズ及びセルフモニタリングについては、虹ヶ丘小学校わくわくプラザにおいて、外国籍の児童の増加傾向を踏まえ、本や遊具の品揃えや掲示物の記載等を工夫するとともに、それらをきっかけにして児童同士の交流を促すなど、利用者の満足度の向上と併せて異文化交流の促進も図っている。虹ヶ丘こども文化センターでは、意見箱に入れられたアンケートに対し、対応の可否や対応方法等を職員が回答して掲示するなど、利用者の満足度向上に繋がっている。王禅寺こども文化センターでは、乳幼児親子の意見を聞き入れ、乳幼児サークルの「がきんこクラブ」と協力し、各家庭で不要になった洋服を提供しあう「ミニミニフリーマーケット」を開催し、乳幼児親子交流に繋がった。また、法人作成様式を用いセルフモニタリングを実施、職員で結果を共有し運営の振り返りに役立っている。 ・苦情等への対応について、苦情処理の体制・手順について整備され、相談窓口について利用者へ周知されている。結果として、大きな苦情事案はなかった。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、日常的な解除の仕方や発達段階に応じた支援について、保護者、学校、行政機関、各種関係機関等で定期的に情報共有を図るなどしながら、児童への対応の質の向上が図られた。また、それぞれの児童の特徴を踏まえて、対応における留意点等について一元的に管理してスタッフ間で共有するなど、様々な工夫をしながら対応の統一化と質の向上に繋がった。 ・新たな取組として、川崎区の浅田こども文化センターと王禅寺こども文化センターと合同でキャンプを行った。黒川青少年野外活動センターでの野外体験活動や、互いの地域の魅力を伝えあい、意見交換するという取組を通じて、普段なかなか交流することのない地域間での交流を促進した。 ・企業の社会貢献等プログラムの活用として、放課後NPOアフタースクールソニーグループの「オリジナルアニメワークショップ」に応募し、映像や音楽を通じて、参加した児童に日常ではできない体験を提供した。 ・施設・事業の広報については、児童だけでなく、高齢者に関心を持ってもらえるよう、近隣の麻生台団地の掲示板にポスターを掲示するなど工夫を行い、効果的な広報を行っている。また、新たに地域版のこ文だよりを発行し、普段こ文を利用しない地域の方への事業の認知度の向上に努めるなど積極的な広報を行っている。 ・わくわくプラザの充実については、多世代交流促進事業を実施し、多世代・地域交流が図られているほか、その他に学習タイムの実施、適時適切なメール配信、地域の寺子屋の連携など、わくわくプラザ事業の充実に取り組んでいる。					

組織管理 体制	こども文化センターにおける適正な人員配置	・「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①館長1名配置、②スタッフリーダー2名以上配置、③館長とスタッフリーダーの勤務を割り振らない日が重ならないように配置、④利用時間を通じて常勤職員1名以上配置⑤常勤職員配置1名の場合パートナーを配置、⑥12時30分から18時まで常勤職員2名以上配置(常勤職員を配置できない場合、常勤職員1名につき、パートナー2名の配置) 「川崎市契約条例」が遵守されているか。	5	3	3	
	わくわくプラザにおける適正な人員配置	・「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①長期休業日等の開室時間の延長対応、②放課後児童健全育成事業の対象児童以外の利用児童概ね20名につき、チーフサポーター1名以上配置、③参加児童数の多い時間帯に学校の特別教室等を使用して、複数箇所に分かれて事業を実施、④わくわくプラザ事業に、月～金の9:30から18:00まで常勤職員を配置 「川崎市契約条例」が遵守されているか。	5	3	3	
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。 職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。	10	4	8	
	個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
(評価の理由) ・こども文化センターの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・わくわくプラザの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、職員が市の研修を受講するとともに分野ごとの法人としての研修が行われている。予め研修計画を立てた上で館長主導で各職員の研修受講の促し及び管理を行っている。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員が報告しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧できる等、知識を共有している。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はない。						
適正な業務 実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備(AEDを含む)の保守・点検を適切に行っているか。 建築物定期点検及び建築設備定期点検の実施が適切に行われているか。 備品等の管理が適切になされているか。	5	4	4	
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。 事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。 事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。 施設の防犯対策に工夫がなされているか。 災害発生時に備えた対応が図られているか。 災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。	10	3	6	
	(評価の理由) ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。王禅寺こども文化センターでは、古くなって色あせてしまった掲示板を、明るく綺麗で、かつ利用者にも見やすくなるよう、DIYでリニューアルした。 ・柿生こども文化センターでは、利用者が利用時間を把握できるよう、集会室に時計を設置するとともに、破損、落下防止のためにカバーを取り付けて利用者の安全にも配慮した。 ・利用者の安全確保については、法人作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、各事例の館長会議での共有及び事例検討会などを開催し議論を重ね、職員等の意識向上を図っている。 ・防犯対策及び災害時の対応として、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。					
	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3	
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。 効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。 支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。	5	3	3	
	(評価の理由) ・適正な金銭管理・会計手続について、法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している他、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かした全グループ合同行事、区合同行事等に加えて、各館独自でも様々な事業を行った。その際、企業の社会貢献等のプログラムを活用した事業や、グループを超えた独自の合同事業を行うなど、積極的に良質なサービスを提供している。また、利用者意見を把握するためのアンケートに対して、スタッフの回答を記載して掲示するなど、形式的ではない利用者ニーズの把握に努めるとともに、掲示板のリニューアルや集会室への時計の設置など、DIYによる施設の設備の改善によって利用者の満足度の向上に繋げている。
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、利用者の発案を取り入れ、異年齢、多世代交流に繋がる事業を実施するとともに、企業との連携により、子どもの安全・安心な居場所の提供だけでなく、多世代交流や多様な体験をととした育成事業に努めること。また、新型コロナウイルスの感染予防のための「新しい生活様式」を踏まえたこども文化センター及びわくわくプラザの運営に取り組むこと。
--